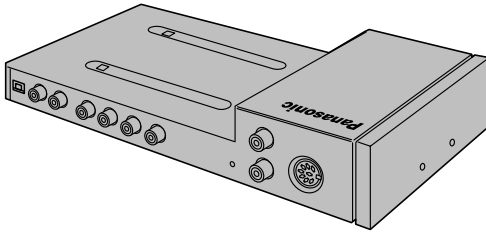


Panasonic

マルチチャンネル
AV マスターユニット

取扱説明書



品 番

CA-TU9000D



CAR AUDIO

DIGITAL
DOLBY
DIGITAL

dts
DIGITAL SURROUND

保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

本機をご使用になるには、別売の専用ヘッドユニット（7 ワイドインダッシュ TV/DVD-VIDEO プレーヤー CY-TVD9000D）が必要です。必ず別売の光ファイバケーブルを接続して、ご使用ください。本書では、CY-TVD9000D と組み合わせた場合の操作のしかたについて説明しています。

操作は、CY-TVD9000D の付属リモコン、または本体(ディスプレイユニット)で行います。配線・取り付けなどは、CY-TVD9000D の取扱説明書も併せてご覧ください。

本機の付属品・添付品について

付属品：本機には、取り付け・配線に使用する部品が付属されています。56 ページをご覧ください。

添付品：取扱説明書 / 保証書 / お客様ご相談窓口一覧表

TVD9000 単体使用時との機能比較

：機能あり
×：機能なし

機能	組み合わせ	TVD9000 のみ	TVD9000 + TU9000
AM/FM チューナー (ラジオ)		×	
チェンジャーコントロール		×	
45 W x 4 ch パワーアンプ		×	
FM トランスミッター		音声を電波で送信して、車載 FM ラジオで聴く。	× 本機 (TU9000) 側のアンプを使用する。メニューに表示されなくなります。
音質調整		×	
付属スピーカーの出力 センタースピーカーとして 使用することはできません。	ナビ優先	ナビゲーションが「ON」のときは、ナビゲーションの音声優先される。	ナビ固定 ナビゲーションの音声だけが出力される。
音量調整	スピーカー音量	付属スピーカーから出力される音声の音量を調整する。	VOLUME (ボリューム) 本機に接続されている外部スピーカーから出力される音声の音量を調整する。
光デジタル接続		×	別売の光ファイバケーブルを接続してください。

もくじ

ご使用前に

はじめに	2
安全上のご注意	4
5.1 ch サラウンドシステムの準備	8
各部のなまえとはたらき	10
ディスク (DVD ビデオ / ビデオ CD / 音楽 CD) を再生する場合	11
ナビゲーション付属リモコンで本機を操作する場合	12
ディスクについて	13

使う

電源を入れる (基本操作)	14
モニターの開閉 電源 ON/OFF 音量調整 消音(ミュート) モード切り替え モニターの上下角度 (TILT)・位置調整 / 左右の角度調整 / 一時的に前へ倒す	
テレビを見る	16
ディスクを再生する	18
DVD ビデオ / ビデオ CD を再生するには	19
音楽 CD を再生するには	22
用語解説	23
再生のしかたを選ぶ、音場を設定する	24
ラジオを聴く	26
チェンジャーで CD/MD を聴く	28

使いこなす

組み合わせる/便利な機能	30
カーナビゲーション 車載用カメラ 車載用ビデオ、ビデオカメラ 2 台目のモニター 2 台目のモニターへ出力するソースを設定する (リアモニター設定) 映像の横縦比を変える (アスペクト)	
いろいろな設定と調整	36
ユーザー設定	36
DVD 設定	42
画面調整	40
音質調整	46

必要なときに

著作権について	50
お手入れのしかた	50
ディスクの取り扱いについて	51
故障かな!?	52
取り付け・配線の前に	56
取り付けかた	57
配線のしかた	58
仕様	63
アフターサービスについて	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

運転者は走行中に操作をしない、
また画像を注視しない



禁止

走行中の操作や画面の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
安全な場所に停車し、操作してください。

運転や視界の妨げになる位置に
取り付けない



禁止

前方・後方の視界やエアバック等安全装置の妨げになる位置、シフトレバーやブレーキ付近など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因になります。

取り付け・アース配線等に、保安
部品を使わない



禁止

ステアリング・ブレーキ系等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品をご使用ください。



注意

取り付け・配線は、専門技術者に
依頼する



本機の実取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ヒューズの交換は、専門技術者に
依頼する



規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火、感電や故障の原因になります。

配線作業中はバッテリーの ⊖ 端子
を必ずはずす



説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると、発火や感電の原因になります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

DC12V ⊖ アース車で使用する



本機は DC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など (DC24V 車) には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいもの等の異物が入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、発火、および感電や故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

水をかけたり、ぬらしたりしない



禁止

内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し、発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようご注意ください。

可動部に手・指を入れない
ディスク挿入口に異物を入れない



禁止

可動部に手・指、挿入口に異物を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聴こえない状態での運転は、事故の原因になります。

⚠ 注意

アンテナは、落下しないように
しっかり取り付ける



ねじがゆるんでいたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して車のボディを傷つけたり、事故やけがの原因になります。時々点検してください。

アンテナは、はみ出さないように
取り付ける



アンテナの元素が車幅および車の前後部からはみ出すと、歩行者の目や顔などに接触して、事故やけがの原因になります。

運転や乗り降りを妨げたり、破損しないようにコードを引き回す

運転や乗り降りが妨げられると、事故やけがの原因になります。
コードが痛んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。
車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないように整形し、固定する。
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回す。

電池は正しく扱う

電池を正しく扱わないと、破裂や液漏れによる発熱・発火、けがや故障、および周囲を汚染する原因になります。



電池は極性表示(+と-の向き)を確かめて、指示どおり正しく入れる。
指定外の電池を使用しない。
使いきった電池は、すぐに交換する。
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
電池を廃棄、または保存するときは、テープを巻きついたりビニール袋などに入れて絶縁する。
充電・ショート・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。
窓を閉めきった車の中、車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど、著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
乳幼児の届くところに置かない。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例に従って処理してください。

走行中は、テレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。

安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
2台目のモニターには、映像が表示されます。



使用上のお願い

低温になると、液晶の特性によって映像が出なくなったり、出るのが遅くなったりすることがあります。また、映像の動きに違和感が出たり、画質が劣化したりすることがあります。(使用可能温度：0 ~ 40)

液晶ディスプレイにはあまり触れないでください。
特殊加工されているので、画面に触れると指紋が目立ちます。

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が発生することがあります。
位置や向きを調整し、本機から離してください。

5.1ch サラウンドシステムの準備

DVDソフトを5.1chサラウンドの臨場感あふれる音響効果を車室内で再現するために、はじめに以下の準備をしてください。

センタースピーカー・サラウンドスピーカー・サブウーファーを取り付けずに本機を使用する場合も、サウンドのバランスを調整するためにスピーカー設定を行ってください。

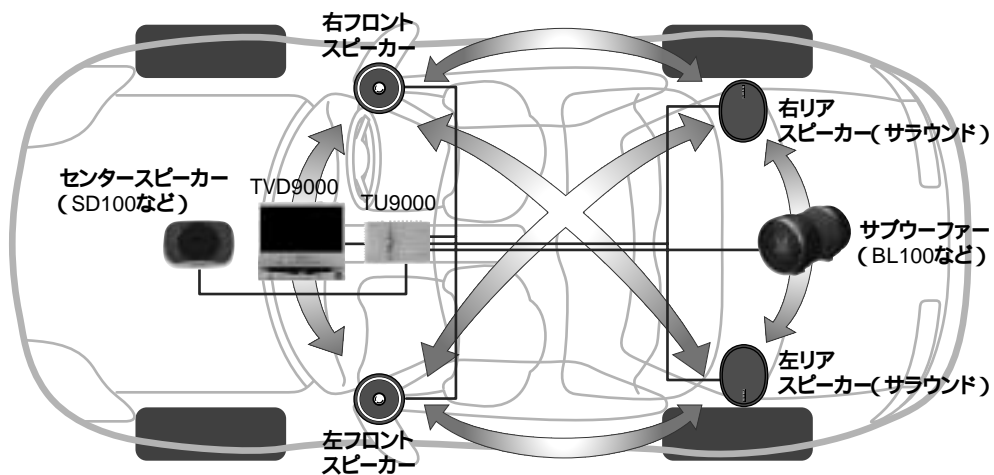
1 スピーカーを設置する

フロントスピーカー（左右）FRONT・L / FRONT・R
左右のフロントスピーカー（フロントドア埋め込み型など）を使用します。

センタースピーカーCENTER
車のダッシュボードの中央付近（モニターの近く）に設置します。
付属スピーカーをセンタースピーカーとして使用することはできません。

サラウンドスピーカー（左右）L・SURROUND / R・SURROUND
左右のリアスピーカー（リアドアやリアトレイ埋め込み型のスピーカーなど）を使用します。

サブウーファーSUB・WOOFER
音の定位が他のスピーカーほど設置する位置に左右されないで、お好みの場所に設置します。
（サブウーファー用のアンプが別途必要です）



左右だけでなく、前後や斜め方向にも立体的な音の移動が感じられ、まるで映画のシーンに居合わせたかのような迫力のある音像を再現します。

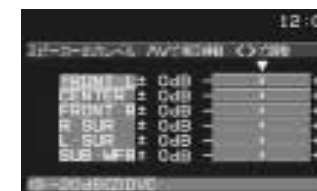
2 電源を入れて、(14ページ) スピーカーについて設定・調整する (46ページ)

スピーカー設定
使用するスピーカーの有無・大きさを設定します。



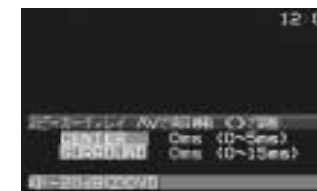
スピーカー設定

スピーカー出力レベル
各スピーカーの出力が同じ音量に聞こえるよう、出力のバランスを調整します。



スピーカー出力レベル

スピーカーディレイ時間
各スピーカーの出力に時間差（ディレイ時間）を与えて、フロントスピーカーの出力と同じタイミングで聞こえるように調整します。ソフトを再生しながら、調整してください。



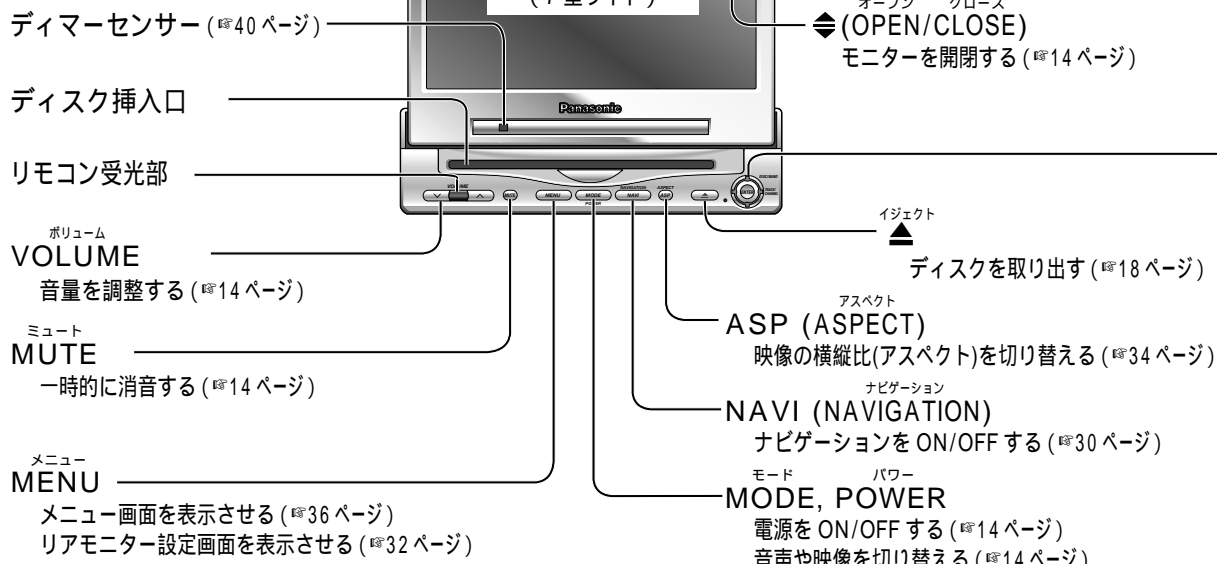
スピーカーディレイ時間

本機は、5ch分のアンプを内蔵しています。別売のセンタースピーカー CJ-SD100D とチューンアップサブウーファー（アンプ内蔵）CJ-BL100D を接続するだけで、5.1ch サラウンドシステムを完成できます。配線については、60～61ページをご覧ください。

各部のなまえとはたらき

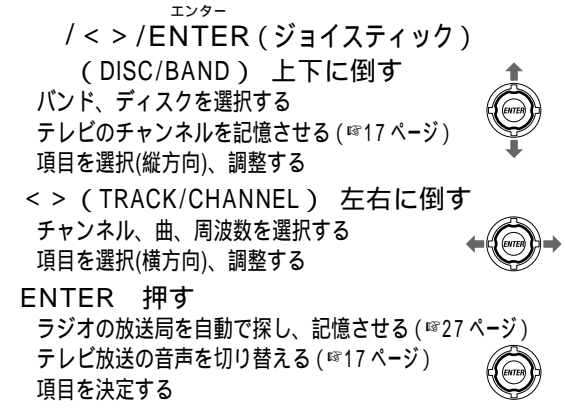
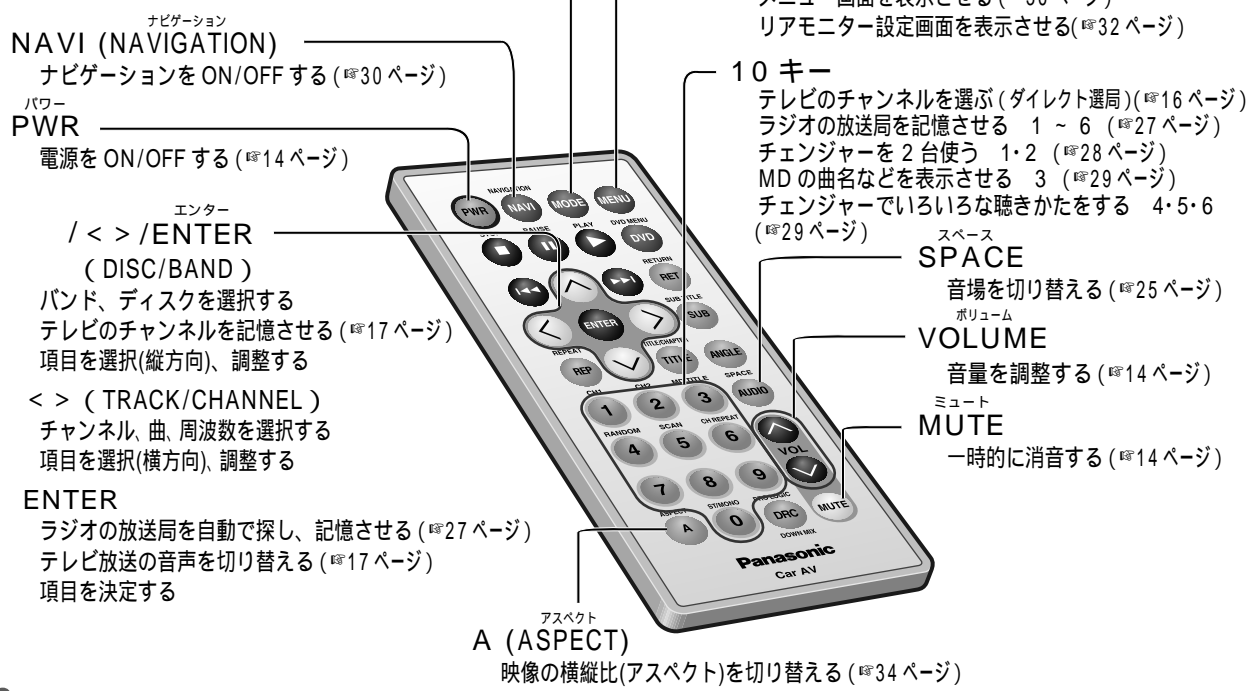
記号について
 DVD : DVD ビデオに対応する機能
 VCD : ビデオ CD に対応する機能
 CD : 音楽 CD に対応する機能

本体 (CY-TVD9000D ディスプレイユニット)



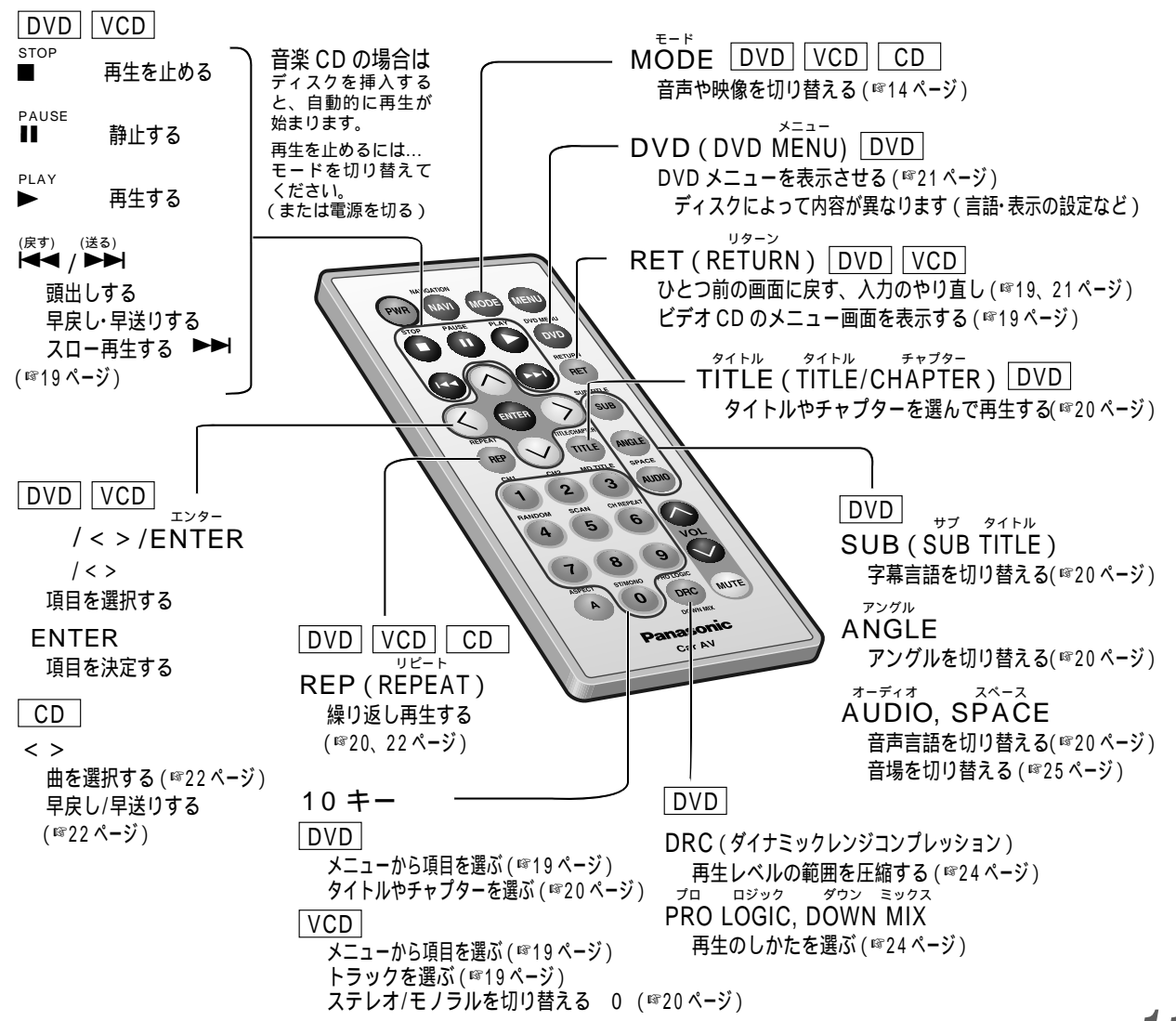
リモコン (CY-TVD9000D に付属)

本体のリモコン受光部へ向けて、操作してください。



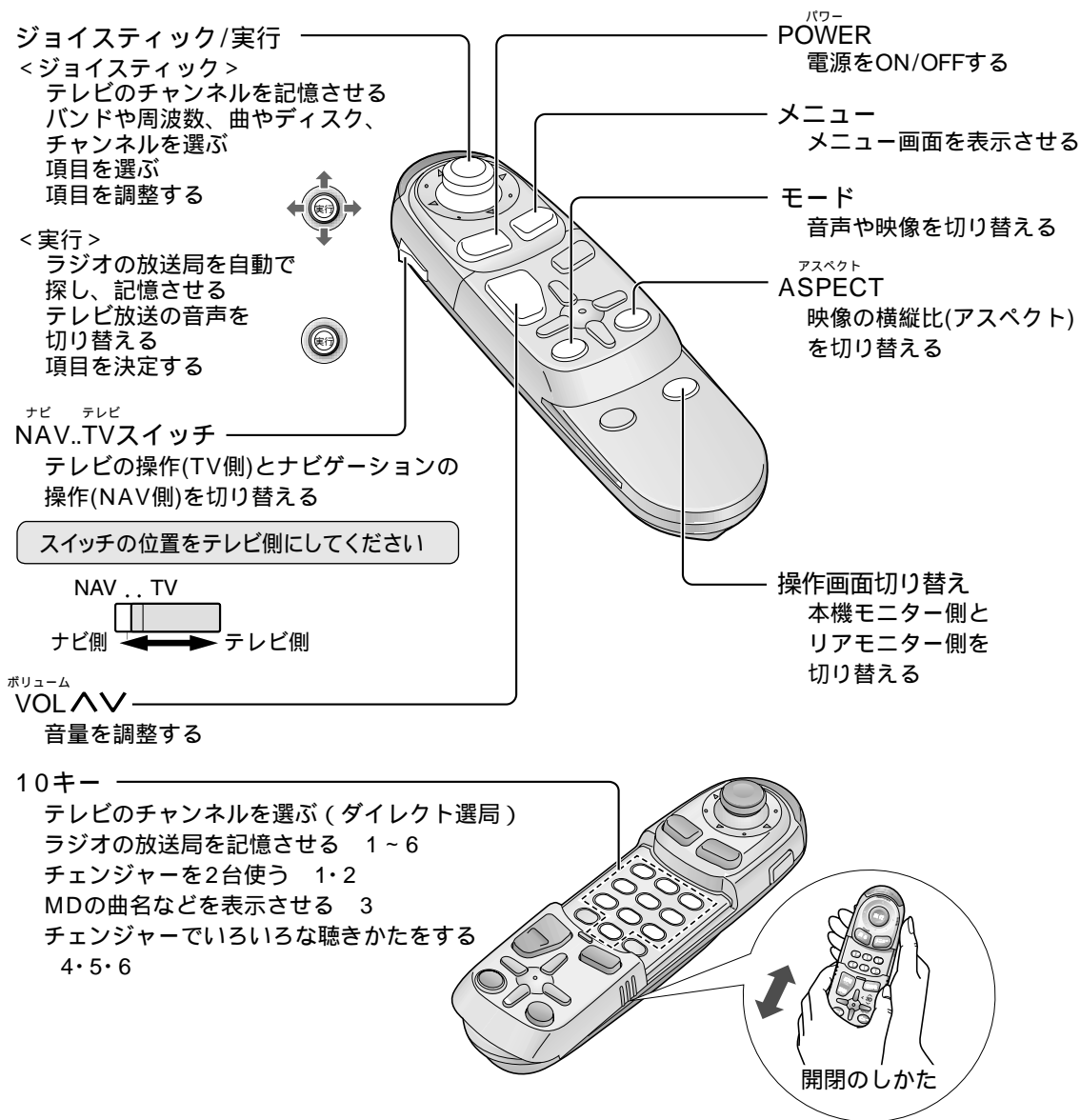
本機 (TU9000) については、配線のしかたをご覧ください (☞58 ~ 62 ページ)

ディスク (DVD ビデオ / ビデオ CD / 音楽 CD) を再生する場合 **リモコンで操作する**



ナビゲーション付リモコンでも、操作できます

本体 (CY-TVD9000D ディスプレイユニット) のリモコン受光部へ向けて、操作してください。



ディスクについて

本機で再生できるディスク

ディスク	マーク (ロゴ)	ディスクの大きさ	映像方式	リージョン番号
DVD ビデオ		12 cm 8 cm	NTSC	2 ALL
ビデオ CD			NTSC	
CD				

ジャケット上のマークについて

下記は、一例です。

字幕数 音声数 アングル数

数字は、記録されている数を示します。

画面サイズ (横 : 縦の比)
 4 : 3 の標準サイズ レターボックス

16 : 9 のワイドサイズ

モニターの画面サイズが標準 (4:3) のときは、レターボックスで再生される。

モニターの画面サイズが標準 (4:3) のときは、パン&スキャンで再生される。

レターボックス : 4 : 3 で上下に黒帯が入った画面
 パン&スキャン : 両側または片側の切れた画面

モニターに映し出される映像のサイズは、
 本機の画面モード (アスペクト 30 ページ) と
 ディスク側の画面サイズによって異なります。

DVD ビデオには、発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられたリージョン番号があります。リージョン番号が一致しないと、再生できません。
本機の番号は「2」なので、ディスクに「2」(または2を含むもの)と「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



ディスク側の制約について

DVD ビデオ/ビデオ CD には、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないものがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

本機で再生できないディスク

リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD ビデオ
 PAL 方式で記録されたディスク dts CD DVD オーディオ
 CD-R CD-RW CD-ROM CD-G CDV
 DVD-R DVD-RW DVD+RW DVD-ROM DVD-RAM
 SVCD SACD VSD フォト CD CVD など

「CD-R」「フォト CD」を再生すると、ディスクの内容が壊れる恐れがあります。
 「dts CD」を再生しても、正常な音声を出力できません。

お知らせ DVD、およびビデオ CD のカラオケ機能には対応していません。

ご使用前に